

授業科目名・形態	精神科リハビリテーション学Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	田中 誠	開講期	3年後期	単位数
				2

【授業の主題】

この講義では精神科リハビリテーションの理念や基本原則等の理解を基盤として、具体的援助におけるプロセス、技法を学んでいく。また多職種等との連携、社会資源の活用等の視野も広げていく。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらには国家試験を視野に入れた講義も試みたい。

【到達目標】

- 1) 精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。
- 2) 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用方法について理解する。
- 3) 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1回 アウトリーチサービス
- 第 2回 家族教育プログラム
- 第 3回 精神科チーム医療の概念
- 第 4回 多職種との協働・連携の技術
- 第 5回 多職種との協働・連携の技術
- 第 6回 リハビリテーションチームにおける P S W の役割。
- 第 7回 リカバリーの展開 ピアカンセリング
- 第 8回 多文化ソーシャルワーク、アンチステグマ
- 第 9回 バイスツェクの 7 つの原則
- 第 10回 医学（治療）モデルと生活モデル及びストレングスモデル（具体的例を用いて）
- 第 11回 地域を基盤としたリハビリテーションの考え方①
- 第 12回 地域を基盤としたリハビリテーションの考え方②
- 第 13回 地域における資源の動員とネットワーキングの実際①
- 第 14回 地域における資源の動員とネットワーキングの実際②
- 第 15回 まとめ

【授業実施方法】 講義形式

【教科書等】 「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」
「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」 弘文堂

【参考文献】 随時、講義の中で紹介する

【成績評価方法】 筆記試験又はレポート 80%、出席数 10%、授業態度 10%により総合して判断する。

【学生へのメッセージ】

本講義は精神保健福祉専門職の視座、技術、役割、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。精神保健福祉士を目指す学生は、積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。